

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、**ポストイング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送**などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、**議長公務の様子などを議員活動と同時に**ご報告しています。



相崎佐和子

議会改革の先進市に学ぶ ～議会運営委員会の視察～

1月28～29日、「議会運営委員会」で議会改革についての視察に行きました。知りたいことは、①議会改革が進んだ理由、②伊丹市議会では未実施の取り組みについての具体的な様子、の2点です。

■千葉県流山市

議会改革の先進市としてあまりに有名な千葉県流山市へ。

- なぜ議会改革が進んでいるのか？→まず熱心な議員が先頭に立って引っ張った。改革が評価され(全国議会改革ランキング1位)、議会内で「これは改革にキチンと取り組まねばならない」との意識が強まった。
- 改革が進んだ結果、市民の反応は？→議会への関心が高まったと捉えている。委員会ライブ中継では、事務局にリアルタイムでご意見がくることも。
- 正副議長の立候補制(伊丹市議会では未実施)の様子は？→選出過程が透明化した。地方自治法103条規定により、被選挙人を立候補者に絞っていない。議長は公平な議会運営が求められるゆえ、議長選で公約できる事柄の余地は小さいものの、やはり候補者によって公約内容はかなり違い、一定の意義があると捉えている。
- 反問権(当局側からの質問。伊丹市議会では未実施)の様子は？→活発に反問権が行使されている。厳しいやり取りが何往復も続くことも。議論が活性化している。
- 委員会ライブ中継(伊丹市議会では未実施)の様子は？→視聴数は多い。議員側も見られている意識から、非現実的な話はしなくなったかも。経費はイニシャルとしてwebカメラ代と無線ラン代で約1万5000円。アクセス数は20～30件(時に数100件)。



■東京都多摩市

流山市と同様、東京都多摩市も議会改革の先進市として有名です。

- なぜ議会改革が進んでいるのか？→新住民が多く、議会も昔から柔軟性にとんでいるため、特に改革に熱心に取り組んでいる感覚はない。
- 委員会ライブ中継(伊丹市議会では未実施)の様子は？→YouTubeにて実施。ポイントは「とにかく始める」経費は極力かけない。
- 正副議長の立候補制(伊丹市議会では未実施)の様子は？→立候補者のやりたい事・正副議長の選出過程が透明化した。議長選挙時、傍聴者多し。
- 反問権(伊丹市議会では未実施)の様子は？→これまで2回行使された。議会側・当局側ともに緊張感が生じている。



多摩市の副議長さんと

議会改革の先進市として有名な流山市議会と多摩市議会ですが、実際に話を伺うと、両議会とも変わった議会でもトンがった議会でもなく、**当たり前のことをコツコツと丁寧に進めている議会**でした。伊丹市議会でも議会改革が進められると改めて確信。市民に役立つよりよい伊丹市議会にしていきます。